

今、女子大で学ぼう フィールドワークの現場からみる多様性と包摂

2019年4月、津田塾大学が新たに設置する多文化・国際協力量科では、全ての学生がフィールドワークを実施し卒業研究を行います。多様性を包摂する共生社会とは程遠い様々な問題を抱える現代社会。本シンポジウムでは、アフリカやアジアで研究を行い女子大で教鞭をとる研究者が、豊かなフィールドワークの経験をもとに、多様性と包摂の可能性に向けて発信します。今、女子大でこんな面白いことが学べる！それを実感してください。



日時：2018年12月15日（土）14時～17時

会場：津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス SA207 教室

定員：70名（参加費無料）

- 講演：八塚春名（日本大学国際関係学部助教 生態人類学
2019年津田塾大学多文化・国際協力量科講師就任予定）
古沢希代子（東京女子大学現代教養学部教授 国際開発協力論）
杉下智彦（東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座教授、国際保健）
石井洋子（聖心女子大学人間関係学科准教授 文化人類学）



ディスカッション

司会：松山章子（津田塾大学多文化・国際協力量科設置準備室特任教授）

事前申込にご協力ください（当日の参加も可）：件名を「12月15日シンポジウム申込（氏名）」として tabunka-pre-02@tsuda.ac.jp 又はファックス（042-342-5497）で、お申込みください。氏名（フリガナ）、住所、メールアドレス、電話番号、学校名等所属を明記してください。（形式自由、書式はありません。）